



困難を克服する外科医の精神 「風林火山」と大腸がん治療



平素より大変お世話になり有難く存じます。

2023年4月1日付で府中病院 外科センター 消化器外科 部長（下部消化管）に就任いたしました、野田 英児（のだ えいじ）と申します。下部消化管疾患、特に大腸がんの腹腔鏡手術、ロボット手術を中心に研鑽を積んでまいりました。

さて、がんの治療は、ただ手術すればよいというものではなく、化学療法や放射線治療を組み合わせた集学的治療が重要であることは言うまでもなく、加えて緩和治療なども大切な治療です。今回は、今後の府中病院で泉州地域の医療を担う一員としての我々の大腸癌に対する基本姿勢について、武田信玄公の「風林火山」の精神をもとに、先生方にお伝えできればと思います。

1. 自己紹介

今回は、我々の姿勢を「風林火山」に例えてお伝えしますが、なぜ、突然に武田信玄がでてくるのかと思われたかもしれません。実は、私は1997年、山梨医科大学（現山梨大学）の卒業で、同年、大阪市立大学（現大阪公立大学）の外科に入局したということもあって、甲斐の武田信玄公に思い入れがあるためです。卒業後、すぐに大阪市立大学で研修を始め、外科専門医を取得後は、大腸癌、炎症性腸疾患など下部消化管疾患の診療を20年近く行ってきました。

略歴

1997年	山梨医科大学卒業、同年、大阪市立大学第一外科入局
2007年	大阪市立大学 腫瘍外科 病院講師 学位取得（医学博士）
2010年	同 講師
2013年～	馬場記念病院
2019年～	住友病院
2023年4月～	生長会 府中病院 外科センター消化器外科部長 ロボット手術センター

「風林火山」は、風が吹き荒れるように敵に襲いかかり、森林のように敵を包み込み、火のように敵を焼き尽くす、山のように堅固な結束力を持った軍隊を表現しています。つまり、攻撃だけに注力するのではなく、戦略や統率力を総合的に発揮することが重要であるという思想が込められていると思っています。

2. 「風林火山」の如く大腸癌に立ち向かう

「風」のように素早く対応し、正確な診断を行う

風のように、外科医は早期発見と治療が必要です。大腸癌は、初期段階では症状が出にくく、進行すると治療が難しくなるため、定期的な検診や早期の診断が重要です。患者さんの症状や検査結果をもとに、素早く正確な診断を行い、最適な治療法を提供することが求められます。ご紹介いただいた患者さんにも、迅速に対応してまいります。

ちょっとした、排便時出血などでも、速やかに対応いたしますので、紹介を迷われる症例についてもお気軽にご紹介ください。

「林」のように広く深い知識や経験、技術を持つ

林のように、深い知識と経験が必要です。大腸癌の治療には、手術、化学療法、放射線療法など、複数の治療法があります。当科では、患者さんの病状や進行度に応じた最適な治療計画を立てるために、最新の医療技術や治療法についての知識を熟知し、経験豊かな医師が対応致します。

当院では、腹腔鏡手術のみならず、ロボット支援手術（DaVinci手術）を、保険収載後ただちに導入し、数多くの症例を経験してきました。手術用ロボット（DaVinci Xi）は非常に高額で、資格をもった医師も確保しなければならず、導入の敷居が高いのは事実です。しかし、大阪府がん診療拠点病院、地域医療支援病院として、ロボット手術は必須であり、2018年の保険承認時から直腸癌手術をはじめました。当初は、直腸癌に限定されておりましたが、昨年より結腸癌にも適応拡大され、今後、大腸癌手術の中心的手技になると考えています。また、化学療法も遺伝子検査により、患者さんに最適な個別化治療を提供できるよう努めております。

「火」のように熱心に治療を行い、病気と闘う意志を持つ

火のように、私たちは熱心に治療を行います。大腸癌は、手術や化学療法などの治療に伴い、患者さんの痛みや苦しみが伴います。患者さんの痛みを和らげるための緩和治療も行い、患者さんと家族に寄り添いながら、その苦しみを取り除くことに取り組んでおります。

「山」のように安定した手技と経験を持ち、 チームと協力して癌に立ち向かう

山のように、安定した手技と経験を持ち、チームワークを発揮することが不可欠です。当科の大腸癌治療では、外科医をはじめ、複数の医療従事者が協力して治療計画を策定し、患者さんと家族を支えていけるよう取り組んでおります。

風

「風」のように
素早く対応し、
正確な診断を行う

救急医療
地域医療支援病院

林

「林」のように
広く深い知識や経験、
技術を持つ

高度専門医療
大阪府がん診療拠点病院

火

「火」のように
熱心に治療を行い、
病氣と闘う意志を持つ

手術
化学療法
放射線治療
個別化治療

山

「山」のように
安定した手技と経験を
持ち、チームと協力して
癌に立ち向かう

緩和ケアチーム
栄養サポートチーム
リハビリテーション etc.

以上のように、大腸癌に立ち向かう外科医の姿勢を「風林火山」に例えてみました。一つの要素が欠けることなく、患者さんの健康を守り抜くための戦いを繰り広げることが必要なのです。

3. 患者さんに優しい医療

2023年4月から新体制のロボット手術センター始動

大腸癌に対する治療の選択肢は、患者さんの病状や進行度によって異なります。当院では、消化器内科での高度な内視鏡治療を積極的に行っています。内視鏡治療の適応でなければ、手術を選択しますが、根治性を損なわない範囲で、可能な限り低侵襲な手術を行います。

近年、大腸癌の手術において、ロボット手術が注目されています。ロボット手術は、外科医が手術用のロボットアームを操作し、高精度な手術を行うことができる技術です。腹腔鏡下手術に比べ、手術の難易度は格段に低下し、特に低位直腸癌手術では圧倒的な優位性を発揮します。

当院では、2016年から泌尿器科がロボット手術を開始し、消化器外科、婦人科も加わり2023年3月の時点で747件のロボット手術を行っています。また、2021年4月にロボット手術センターを設立し、2023年4月から新体制で始動いたしました。今後も“患者さんに優しい医療（安全で身体に負担の少ない機能温存をふまえた手術）”を提供するため、常に新たな技術を追い求めてまいります。

2023年4月から新体制のロボット手術センターを始動



2021年4月にロボット手術センターを設立。
今後も“患者さんに優しい医療”を提供するため、
常に新たな技術を追い求めてまいります。



(2023年3月末実績)

前立腺がん
2016年6月開始

296件

腎臓がん
2017年10月開始

69件

膀胱がん
2019年8月開始

23件

胃がん
2017年9月開始

120件

直腸がん
2018年6月開始

123件

結腸がん
2022年4月開始(※)

12件

脾臓がん
2022年9月開始

4件

子宮脱・
膀胱脱
2020年7月開始

78件

子宮筋腫
2020年8月開始
(※)

22件

※2023年4月現在、結腸がん、
子宮筋腫に対するロボット手術
は準備中です。

4. 患者さんと家族のメンタルヘルス

手術後には身体機能が低下することがあり、患者さんのQOL（生活の質）を高めるため、回復を促すための適切な指導やサポートを提供することが重要です。大腸癌に対する治療は、患者さんにとって非常にハードなものであるため、患者さんと家族のメンタルヘルスにも配慮が必要です。当科では、患者さんや家族に寄り添い、治療計画の説明や支援を行い、安心感を与えられるよう心掛けております。

5. 個々のライフスタイルに合わせた個別化治療

手術が難しい場合や切除不能な転移がある場合には、化学療法や放射線療法を用いることがあります。さらに、遺伝子検査による分子標的治療や、免疫チェックポイント阻害剤などの最新の医療技術も大腸癌の治療に取り入れられるようになっていきます。

これらの技術により、患者さんの適切な治療法が選択され、癌細胞に対する効果が高められることが期待されています。ただ私たちは、ガイドラインの通り、病状と治療を1対1とは考えておりません。大腸癌の化学療法に使用する薬剤は多数あり、レジメンも複雑化しています。そのため、副作用も様々なものがあり、患者背景、ライフスタイルにあわせて薬剤を選択していく、個別化治療に取り組んでいます。

6. 最後に

本日は「風林火山」になぞらえて、大腸癌に立ち向かう当科の姿勢を紹介させて頂きました。大腸癌治療には、早期発見・正確な診断、深い知識と経験、熱心な治療、安定した手技とチームワーク、そして患者さんと家族に寄り添うことが求められます。私たちは、最新医療技術を駆使しながら、患者さんにとって最適な治療法を提供するために、常に最新の情報や技術を習得する必要があります。

また、患者さんや家族とのコミュニケーションを大切にし、治療の説明や不安の解消、適切なフォローアップなどを行うことが求められます。こうした総合的なアプローチにより、私たちは風林火山の精神で大腸癌に立ち向かい、患者さんの健康を守り抜くことができると考えています。

最後になりましたが、まだまだ改善していかなければならない課題が山積していることも、承知しております。今後とも、先生方のお力添えのもと、少しでも地域医療に貢献できるよう尽力致す所存です。先生方と共に、一人でも多くの患者さんのお役にたてればと思います。

なお、当院では、悪性疾患だけではなく、鼠経ヘルニアをはじめとした腹壁ヘルニアや痔核など、一般外科にも対応できるよう体制を整えております。命には直接関わらないものの、患者さんのQOLを低下させる疾患であり、これらに対しても、最新の治療を提供できるよう努めております。

外科センター

	月	火	水	木	金	土
午前	田中(浩) 西 遠藤	西岡 山添 田中(浩)	野田 竹内 増田	西 山添 西岡	増田 平田 野田	—
午後	西	田中(浩)	増田	—	平田/野田	—

・診察受付・・・8:00～11:45（診察は9時から）

・予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

・診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませお願いいたします。



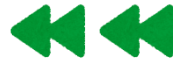
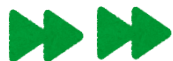
外科センター 消化器外科部長

野田 英児 (ノダ エイジ)

■資格

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会 技術認定医（消化器・一般外科）
日本内視鏡外科学会 ロボット支援手術プロクター
日本内視鏡外科学会 評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
インфекション・コントロールドクター
日本病態栄養学会認定NST研修修了
医学博士

m3.comへ移行します



府中病院の記事を
ご覧いただけます



ご予約の申し込み・お問い合わせは地域医療連携室までご連絡ください

[TEL]0725-40-2147 [FAX]0725-40-2148

【予約受付時間】

●月曜～金曜：午前9:00～午後8:00まで ●土曜：午前9:00～午後5:00まで

※上記時間外及び日曜・祝日は業務を行っておりません。

※予約申込書は〈府中病院ホームページ〉よりダウンロードしていただけます。

New

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2023.9月

第35回府中循環器線セミナー（循環器内科）

※ハイブリッド開催・事前申込制

日時：2023年 9月 16日（土） 14:30～16:00

場所：府中病院アイセンター 3F会議室

お申し込みは地域医療連携室

0725-40-2147 までご連絡ください

VSRAD
ブイエスラド

早期アルツハイマー型認知症診断支援システム

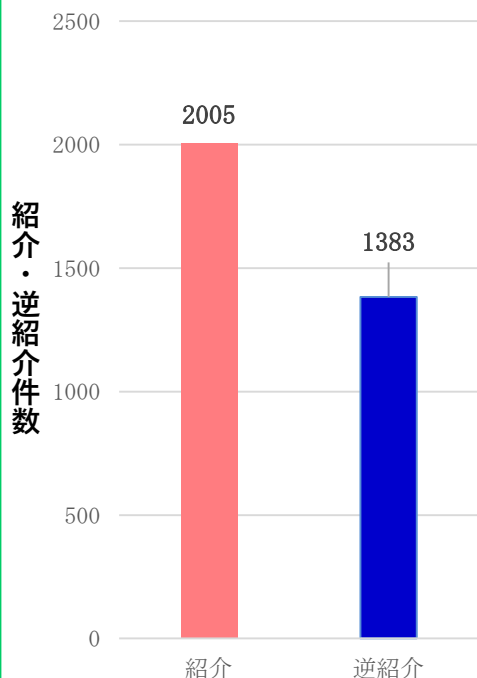
MRI 画像を使って脳の萎縮度をみる検査です！

もの忘れが気になる方で**54歳～86歳**の方が対象になります。
当院では地域の医療機関の先生方より頭部MRI+MRA 単純検査に追加撮影
「**VSRAD(ブイエスラド)**」のご依頼を承っております。
VSRAD 検査をご希望される場合は、画像検査申込書の備考欄に
「**VSRAD 希望**」とご記入いただくか、もしくはお電話での**検査予約時**
にお申し出ください。

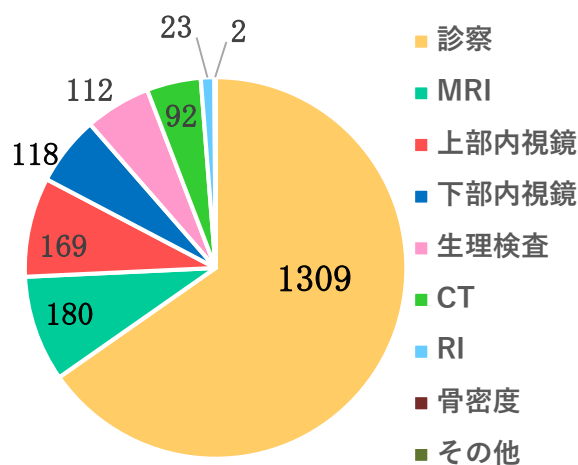
紹介実績 〈2023年6月〉



にこまる



紹介実績件数



府中病院
ホームページ



府中病院
facebook



府中病院
YouTube

ねっとわーく Vol.237

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 家口 尚

編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu·ki·to·do·ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして

チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。